

【科目名】呼吸リハビリテーション学		【担当教員】高橋洋						
【授業区分】専門基礎分野（リハビリ関連科目）	【授業コード】2-14-0406-0-3	(メールアドレス) hiroshit@nur05.onmicrosoft.com						
【開講時期】2年次 後期	【選択必修】PT 必修/OT・ST 選択	(オフィスアワー) 月、火、木、金 8:00～17:00						
【単位数】1 単位	【コマ数】8 コマ							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 実技を行う時は、実技の行いやすい服装で挑むこと  (受講のルールに関わる情報・予備知識) 呼吸器に関する解剖、生理を復習しておくこと								
【講義概要】 (目的) 呼吸器の生理、呼吸機能の評価、呼吸理学療法を講義する。 (方法) 資料を配布する。								
【一般教育目標(GIO)】 呼吸器の機能を理解し、呼吸機能評価と正常値・異常値を知る。呼吸理学療法についてその目的・方法を理解する。  【行動目標(SBO)】 呼吸器の機能、異常の原因を理解できる。呼吸理学療法の方法とその意義を理解できる、呼吸器疾患に対する運動療法を実施し、ADL を指導できる。								
【教科書・リザーブドブック】								
【参考書】 細田多穂、柳澤健編集：理学療法ハンドブック、疾患別・理学療法基本プログラム、協同医書出版社、								
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 本学学則規程の GPA 制度に従う。 期末試験、レポートにより総合的に評価する。								
【達成度評価】	試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	30	0	0	0	0	100 点
評 取り込む力・知識	○							

平成 26～28 年度入学者用

価値指標	思考・推論・創造の力			○					
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢			○					
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法	学修課題(予習・復習)	時間(分)					
1	オリエンテーション 呼吸器の知識	講義	(予習) 呼吸器の生理解剖を復習しておくこと (復習) 講義内容を理解、暗記すること。	60 分					
2	呼吸器の評価～リラクゼーション	講義	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。	60 分					
3	呼吸パターン訓練～呼吸筋強化	講義、実技	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。	60 分					
4	腹式呼吸～体位排痰法	講義、実技	(予習) 筋の神経支配を復習しておくこと (復習) 講義内容を理解、暗記すること。	60 分					
5	運動療法、在宅酸素療法	講義、実技	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。	60 分					
6	人工呼吸器～エビデンス	講義	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。	60 分					
7	演習	演習	(予習) ケースを示すのでレポート作成してくること。 (復習)	60 分					
8	演習	演習、発表	(予習) 国試過去問をやってくること。 (復習) できなかった問題をやり直すこと	120 分					

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。